

検定試験勉強を効率よく行うためには

「上書き保存」と「名前を付けて保存」の使い分け

時間が無いときの勉強方法の一つとしていくつかのパターンの練習問題を保存しておく。
特にエクセルの勉強には有効です。

エクセルで計算式の手順を集中的にやりたい時にいちいちデータを入力するのは時間がかかり大変です。そんな時はデータを打ち込んであるファイルを作成しておいてそれを開いて計算式の練習をする。

途中で終了するときは、上書き保存してまた次回そこから初めてもいいし、名前を付けて保存をして前のファイルを残しておけば次回どちらからでも始められるので効率的です。

多数の練習問題をいろいろなパターンで保存しておくとお効率的に勉強できると思います。

ワードの検定試験での注意点

一問目の文章を入力した際、設問の内容にフォントの変更があった場合、次の問題でフォントの変更がなかった時に一問目の変更したフォントのままになっている場合があるので問題ごとに設問を回答するときには気を付ける。(当初設定されていたフォントに変更すること)

例 当初設定が明朝体になっていた場合

一問目 ゴシックにきなさい→明朝体をゴシック体に変更する。

二問目 指定なし→ゴシック体を明朝体に変更する。